

バヌアツの船舶を安全に導く

海の玄関口を守る灯浮標を調達・設置



設置前の緑色の灯浮標

JICSは、日本政府が実施する無償資金協力事業において、被援助国の代理人として資機材およびサービスの調達を担っている。本案件では、バヌアツ向けに海上の危険箇所や安全な航路を示すための標識灯浮標の調達手続きから現地への引き渡しまで、一連の実施監理を行った。

灯浮標は航路標識の一種で、夜間には光、昼間には色や形によって、船舶に対し航行上の位置情報や浅瀬・暗礁など周辺の危険を示す重要な役割を担う。本件はバヌアツ政府から日本政府への要請を受け、バヌアツの玄関口であるポートビラ港の航行支援機能強化を目的に行われた。

広大な港域を踏まえ、灯浮標の設置場所について慎重に検討を重ねた。専門コンサルタントによる技術的助言を受けながら、バヌアツ港湾局との継続的な協議や現地二丁の丁寧なヒアリングを行い、最終的に

先方の要請を反映した航行の安全性を高める設置場所と仕様を確定させた。

調達にあたっては、既存の灯浮標の撤去、新しい灯浮標の設置と一貫した現地作業が求められた。契約者であるサプライヤーやメーカーによる安全管理、工程管理および関係機関との連携など、現地作業の包括的な実施体制の整備の結果、作業計画の妥当性、作業品質、安全確保においてバヌアツ港湾局が十分に満足する対応が実現した。一連の業務の中での日本側関係者の高い責任感と専門性は、強く印象に残っており、当局からも感謝の声が寄せられている。

近年、バヌアツを含む太平洋島しょ国の重要性は、日本外交において一層高まっている。今後も、日本の無償資金協力の枠組みと高い技術力を活用し、相手国における裨益効果の最大化に貢献できるように、調達業務に着実に取り組んでいく。



1.メーカーによる調整作業 2.現地作業 3.赤色の灯浮標設置作業 4.現地作業 5.設置された赤色の灯浮標



一般財団法人日本国際協力システム 業務第一部 地域第四課

奥山 千波さん (おくやま・ちなみ)

大学卒業後、一般財団法人日本国際協力システム (JICS) に入団。主に資機材およびサービスにおける調達業務ならびに監理業務を担当している。入団以降は、バヌアツをはじめとする太平洋島しょ国向けの調達代理業務に従事している。